

やまぐち自然共生ネットワーク総会

庫本会長あいさつ

本日はたくさんの会員の方々にお集まりいただきありがとうございました。

やまぐち自然共生ネットワークは発足から5年目を迎えました。発足時には、山口のすぐれた自然を保全し、次の世代につないで行こうというのが合い言葉でした。

私たちは自然を利用しながら健康で豊かな暮らしを築いてきました。しかし、長い年月の中には、いい利用もありましたが、あまり良くない利用もありました。特に高度経済成長期には、人間中心主義が支配し、自然を壊す利用もありました。

自然は間違いなく私たちの暮らしを支えており、健康で豊かな暮らしはすぐれた自然のなかでしか生まれてきません。そこで、私達は壊れた自然を修復したり再生し、また絶滅に瀕した野生生物は保護をして、絶滅を回避するよう県民総出で進めて行こうと考えました。

あれから5年、この活動はだんだん広がり、たくさんの方々に参加していただけるようになってきました。昨年夏の角島のリレーミーティング、秋の周防大島でのミニシンポジウム、冬の萩での椿観察や菊が浜での海岸掃除・・・どれも楽しく、素晴らしいミーティングになりました。

本日の総会では、独自の力でさらなる発展を期すための事業計画や予算などが取り上げられ、皆様のご意見を拝聴することになります。どうぞよろしくご協議いただけますようお願い申し上げます。



横山環境生活部次長あいさつ

やまぐち自然共生ネットワークの通常総会の開催に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

やまぐち自然共生ネットワークにおかれましては、山口県の豊かな自然環境を後世に引き継ぐことを目的として、平成16年7月に設立され、以降、地域と一体となった活動や、リレーミーティングの開催など、団体間の交流・連携に積極的に取り組んでいただいております。本県の自然環境の保全に多大な御貢献をいただいていることに対しまして、厚くお礼申し上げます。

また、本県では、「やっぱりいいね 自然も笑顔も山口県」をキャッチフレーズとして、県民総参加による「住み良さ日本一の県づくり」を展開していますが、やまぐち自然共生ネットワークの皆様にも「住み良さ日本一おひろめ たい志」として御協力をいただいているところであります。

住み良さ日本一を実現するためには、県民一人ひとりがこの山口県の豊かな自然環境のすばらしさと大切さを認識し、後世に引き継いでいくことが極めて重要であります。

県といたしましても、昨年度から環境学習推進センターと連携して、県民主体の自主的な活動を全県的に展開する「自然共生推進事業」に取り組むなど、自然共生型やまぐちの創造に向けた取組を進めております。この取組を進めるためには、やまぐち自然共生ネットワークの皆様との連携を深めることが必要であると考えておりますので、格別の御支援・御協力をお願い申し上げます。

本日は、エコツーリズムの推進を図る観点から、山口市内を散策するモデルエコツアーを実施することとしております。

あいにくの雨でコース変更もあるかもしれませんが、多くの方のご参加をお願いいたします。

なお、折角の機会ですので、3年後の平成23年に山口県で開催する国体及び全国障害者スポーツ大会について、簡単に触れさせていただきます。

本年7月は、両大会の開催が正式に決定されます。このスポーツの祭典を皆様の心にいつまでも残る夢と感動にあふれる大会とするためには、県民一人ひとりが自主的・主体的に参加され、大会を盛り上げていただくことが重要でありますので、皆様方の積極的な御支援・御協力をお願い申し上げます。

終わりに、やまぐち自然共生ネットワークの今後ますますのご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。